

前回(十一月二十四日)のプログラムでは立ち上がりのウオーキングの途中で飛翔橋の先のジョギングコース沿いに植栽されているお茶の木を見ました。前々回のプログラムでは赤い小さな実を付けている一位の木を見ました。今回は飛翔橋の先のジョギングコース沿いで赤い小さな実を付けている南天の木を見ました。前回と前々回の合わせ技です。イッポオ〜ン(笑い)

配布プリントは当然、南天で作りました。B5 の用紙を縦に使い、その上辺中央に行書体で『南天』とタイトルを表示し、その下に南天の葉と花と実の画像を貼り付けました。そしてその下からこの植物が中国原産であること、『なんてん』と云う名が「難を転ずる」に通ずることから、縁起の良い木とされていること、実は長持ちして最後まで残っている所から、酒席に最後まで残って、なかなか席を立とうとしない人々のことを『ナンテン組み』と呼ぶ地方があると云った事などを書きました。

そして今日のプログラム。寒いプログラムになりました。午前七時に−1.1℃を記録した福祉村のアメダス越谷は、ミーティング開始直前の九時に 3.7℃、十時になっても 6.4℃と 10℃を大きく下回っていました。

この低気温の下で、大坂PCリードの準備運動と磯野コーチ指導の柔軟体操を入念に実行してウオーキングをスタートしました。ウオーキングの隊列の先頭には何時も其処には居ない人がいました。ハイ、それは私です。特に意味は有りません。偶には変わった事をしてみようと云う、気の迷いです。

私は途中、東日本大震災で壊れたトイレの浄化槽の入れ替え工事の現場を見てもらったり、藤棚中継所予定地の説明をしったりしながら、900 メートル表示先の南天の植え込みまで隊列をリードしました。

植え込みの前では小さな赤い実を枝にいっぱい付けた南天の木を見ながら、プリントに書いたことの補足をしました。この説明の合間を縫って、ファミリーの中から『この実は鳥も食べないんですね』と云う指摘が有りました。南天の実が殆ど無傷なのを見てそう思ったのでしょう。良く気の付く人です。遅れ馳せながら南天は有毒植物であるという説明を追加し、再スタートしてもらいました。

ウオーキングの後はふれあい橋(SONS駅伝のスタート&ゴールライン)を一斉にスタートして、アスリートの希望により、ジョギングコースを一周(1830m)、二周(3660m)、三周(5490m)走ってもらいました。この走行中、一周のランナーはゴールの後に(二、三週のランナーの走行中に)ログハウス裏の広場で襷リレーの練習をしました。また三周を走った KH 君のゴール後に KK 君を除く全員は大坂PCリードの体操の後に“Let's Go SONS”を叫んで解散しました。また KK 君はゴール後に岡田コーチの指導で体操をして今日のプログラムを終わりました。

中 村 泰 雄